

宇摩圏域感染症対策連携協議会の会議結果

名 称	令和7年度宇摩圏域感染症対策連携協議会
日 時	令和8年2月26日(木) 15:00~16:00
開催場所	四国中央市福祉会館2階会議室1
出席者	委員9名(うち代理1名)、事務局(保健所)4名
傍聴者	0名
議題及び 議事内容	<p>所長(招集者)の開会あいさつ及び委員の紹介に引き続き、部分公開として議事を行った。令和5年度選出のとおり、会長は藤田委員、副会長は影山委員とし、藤田会長により議事の進行を行った。</p> <p>1 議事内容</p> <p>(1) 四国中央保健所管内の感染症発生状況について【公開】</p> <p>(2) 感染症対策研修会・新型インフルエンザ等対応訓練について【公開】</p> <p>(3) 四国中央市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について【非公開】</p> <p>2 質疑応答</p> <p>(1) 四国中央保健所管内の感染症発生状況について</p> <p>○北川委員：SFTS、日本紅斑熱ともマダニの感染症であるが、それぞれどのような治療をするのか。</p> <p>⇒日本紅斑熱はリケッチアが原因であるので、抗菌薬が有効であるが、SFTSはウイルス感染症であるので、治療は対症療法となる。</p> <p>○北川委員：管内のSFTS、日本紅斑熱の症例はどの辺りで感染したのか。</p> <p>⇒マダニ媒介感染症は、山林に入った際にマダニに刺咬され感染するケースが多いが、必ずしも山林に入らなくとも、自宅周辺で感染する可能性がある。畑仕事や庭作業など、感染が疑われる機会の有無を確認することが重要である。</p> <p>○藤田会長：犬や猫がマダニを付着させたまま持ち込む可能性もあり、山林に近接していない家庭であっても感染の可能性は十分に考えられる。</p> <p>○藤田会長：草取りや畑仕事の際は、皮膚の露出をできる限り少なくすることが、現実的な感染予防策である。</p> <p>(2) 感染症対策研修会・新型インフルエンザ等対応訓練について</p> <p>○三嶋委員：研修会の内容については管内のICN3名で協議し準備を行った。クイズ形式を取り入れ知識の再確認を行った点について、参加者から好評であったため、次年度の実施にもつなげていきたい。</p> <p>○喜多委員：今回は、今回と異なる受講者の参加が見込まれることから、今後もこのような研修の機会を継続していければよい。</p>
事務局	<p>四国中央保健所保健課感染症対策係 係長 内田和彦</p> <p>電話 0896-23-3360 FAX 0896-28-1043</p>